

令和2年度 館林市立第三中学校 学校経営方針

1 学校の教育目標

- 広く豊かな心をもつ
- 自ら学ぶ
- 心身を鍛える

2 目指す生徒像

- 主体性と思いやりのある生徒
- 自分の頭で考えることのできる生徒
- 何事にもチャレンジできる生徒

3 目指す学校像

- 生徒にとって達成感を感じられる学校
- 教師にとってやりがいのある学校
- 保護者や地域の方々にとって信頼できる学校

4 目指す教師像

- 常に「育てる」という視点を持って、生徒とかかわれる教師
- 生徒に自分の言葉で考えさせることができる教師
- 生徒にしっかりと向き合い、しっかりと寄り添える教師
- 生徒・保護者・地域・職員等に対して、誠意のある対応ができる教師
- 謙虚に学ぶ姿勢と、さらに成長しようとする姿勢を持った教師
- 職務に対する厳しさと心のゆとりを併せ持つ教師
- 報告・連絡・相談を的確に行い、「チーム」として連携できる教師
- 何よりも授業で勝負できる教師

5 基本方針

- (1) 昨年度までの取組を踏まえ、さらなる飛躍を目指して、培われた経験と知恵を全教職員で共有し発展させていく。
- (2) 「全校一心」を合い言葉に、チーム三中として生徒・教職員が心をつなげて学校教育目標の実現に向けて努力する。
- (3) 生徒・教職員・保護者それぞれが互いに認め合い、信頼し合い、協力していくために、コミュニケーションを大切にする。
- (4) 教職員一人一人が公務員としての自覚をもって服務規律を守るとともに、自らの専門性・人間性・社会性を高め、責任をもって働く学校づくりを目指す。
- (5) 行動目標としてきた「あいさつ」・「清掃」・「遅刻なし」・「身だしなみ」・「交通ルール」・「ボランティア」の6点を継続して投げかけ、生徒と教職員がともに行動する。

6 本年度の努力点

- (1) 「主体的に学ぶ生徒」の育成
 - ① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進
 - ② 校内研修の充実による教師の指導力の向上（授業改善研修と資質向上研修の充実）
 - ③ 英語4技能スキルアップ事業の推進（県教委からの3年指定の最終年次）
4技能をバランスよく育成する中での、英語によるコミュニケーション能力の向上
- (2) 調和のとれた「豊かな心」の育成
 - ① 「特別の教科 道徳」における取組の推進
 - ② 自己有用感をはぐくむ教育の推進
 - ③ 生徒会活動の充実
 - ④ いじめ・不登校・問題行動の未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に向けた生徒指導・教育相談体制の充実
- (3) 個性を伸ばす教育の推進
 - ① キャリア教育の推進
 - ② 特別支援教育の充実
 - ③ 生徒が主体的に取り組む活動の日常化
- (4) 地域の教育力の活用と家庭・地域との連携強化
 - ① 学校を理解してもらうための発信と機会設定の充実
 - ② 「生徒を育てる仲間」としての家庭・地域との連携・協働の充実
- (5) 安心・安全な学校づくり
 - ① 緊急時の対応マニュアルの見直しと改善、並びに、職員研修の実施による授業中・休み時間・部活動中等の事故防止の徹底（三中安全の日の設定：5月31日）
 - ② 教師や生徒の意識を高めるような避難訓練（火災・地震・水害・不審者等）の実施とそこにおける指導の充実
 - ③ 交通事故防止に向けた自転車の安全な乗り方と、生徒による危険箇所の確認、交通事故発生時の「通報カード」の活用
 - ④ 県・市の「適正な部活動の運営に関する方針」に基づく休養日や活動時間の設定等を考慮した適正な部活動の工夫
 - ⑤ 感染症対策等における日常の危機管理の充実
- (6) 教育環境づくりの推進
 - ① 教育活動を適切に実施するために、校舎内外と教室の整備や整理・整頓及び清掃・清潔に心がける。
 - ② 教材・教具・掲示物等、意欲を喚起する学習環境づくりを計画的に行う。
 - ③ 清掃時間の活動に力を入れ、清掃に対する習慣づくりと勤労意欲の向上を図り、美しい学校にする。（率先垂範、躰、掃除の仕方）
 - ④ JRC及び環境整美委員会等の積極的な活動を推進する。（気づき、考え、実行する）
- (7) 教師のさらなる資質の向上と組織の充実
 - ① 服務規律の確保の推進
 - ② 効果的・効率的に指導力を高める工夫の推進
 - ③ 校務の効率化の推進と、共通実践のための「三中スタンダード」の確立
 - ④ 学年を越えた協力態勢の推進